

平成18年9月の解説（週間天気予報）

【9月の天候状況】

上旬前半は日本付近が高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。上旬後半から中旬前半にかけては日本の南岸に前線が停滞して雨や曇りの日が多くなりました。中旬の後半には台風第13号が九州に上陸した後、日本海から北海道に進んだため全国各地で雨が降りました。下旬は日本付近が高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、東日本、北日本では日本の南海上で発生した低気圧の影響で下旬の後半に雨が降りました。

月を通しての日照時間は平年に比べて東日本の日本海側、北日本および西日本の太平洋側で多く、南西諸島ではかなり少なくなりました。降水量はほぼ全国的に平年を下回り、特に北日本と九州地方では平年の40%以下の観測地点もありました。気温は北日本では平年より高くなりましたが、その他の地方ではほぼ平年並でした。

【9月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7日目の平均）は全国平均では例年（注）より1ポイント高い65%でした。例年と比べて関東甲信、東海、近畿地方では3ポイント低く、北海道、東北、九州北部、沖縄地方では3から12ポイント高くなりました。最高気温（2～7日目の平均）の予報誤差は北陸地方では0.3、中国地方では0.5、例年より大きく、一方北海道、関東甲信地方、九州南部地方では0.3から0.4、例年より小さく全国平均では例年と同じ2.4でした。最低気温（2～7日目の平均）の予報誤差は例年と比べて沖縄地方では0.9大きく、関東甲信、東海、九州南部地方では0.4小さくなり、全国平均では例年より0.1大きい2.1でした。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【9月の週間天気予報から】

前線が日本付近に停滞しているところに、台風が南から接近してくると台風の東側で南からの暖かく湿った空気が前線に向かって流れ込むため、前線の活動が活発になります。

9月23日から24日にかけて台風第14号が日本の南海上を北東に進みました（図1、2）。19日（5日前）に発表した週間天気予報では24日の東京地方の天気を「くもり一時雨」と予報しました。

図3、4はこのとき使用した予想図です。等圧線の形を見ると、本州の南海上に気圧の低い部分が東西に

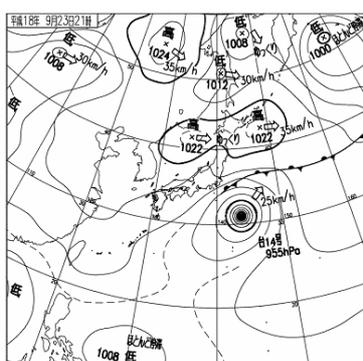


図1_2006年9月23日21時の
実況地上天気図

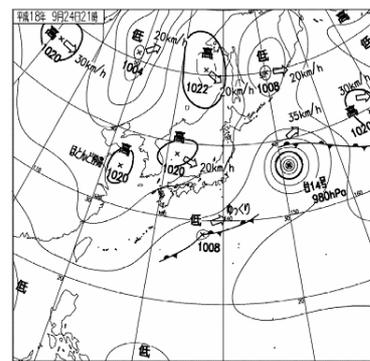


図2_2006年9月24日21時の
実況地上天気図

のびており、広い範囲で降水も予想されています。この予想図だけでははっきりしませんが、本州の南海上に前線が停滞していることと、台風第14号が北上して本州の南海上を通過することを示していると見ることができます。

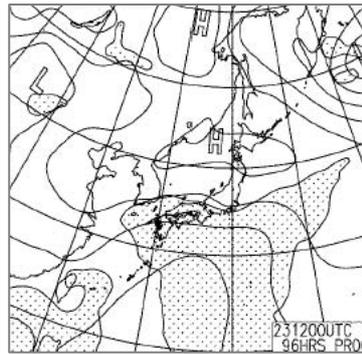


図3 9月19日に予想した
23日21時の気圧配置
ハッチは降水が予想される領域

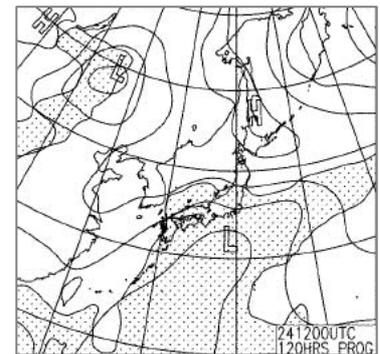


図4 9月19日に予想した
24日21時の気圧配置
ハッチは降水が予想される領域

そこで、24日は関東の南海上に前線が停滞し、活動が活発になるため東京地方では天気が崩れると考えました。

ところが台風が当初の予想よりやや東寄りのコースをとったために、前線活動が活発な部分も予想より東に移って、関東地方には影響することなく、24日には停滞前線は日本の南海上まで南下しました。このため24日の東京地方では雨は降らず、晴れ間が広がりました。

数日以上前から台風の進路が概ね予想できる場合でも、その進路や時期が微妙に違うことで天気が大きく変わってしまうことがあり、週間天気予報を難しくするひとつの要因となっています。

【11月の週間天気予報の利用にあたって】

11月になると北日本や日本海側の地方では、雨に替わって雪が降ることが多くなります。

表1は1971年から2000年までの30年間に雪が降った日数(雪日数)を月別に平均したものです。10月に雪が降るのは北日本や標高の高い地域に限られますが11月には、東日本や西日本の日本海側の地方でも雪が降るようになります。雪が積もった日数(表2)も11月から増えはじめます。例年11月には札幌では1か月で14日ほど雪が降り、9日ほどは積雪があることとなります。また、本州の日本海側の平地でも数日は雪が降って1日程度は積雪があることとなります。

表1 雪(降雪)日数の月別年平均値(1971年から2000年までの平均値)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月~9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|------|------|------|-----|-----|-------|-----|------|------|
| 札幌 | 28.1 | 25.2 | 23.4 | 6.7 | 0.3 | 0.0 | 1.3 | 13.8 | 25.7 |
| 釧路 | 16.4 | 16.0 | 16.3 | 7.3 | 1.4 | 0.0 | 0.2 | 3.7 | 11.1 |
| 青森 | 27.7 | 24.5 | 19.5 | 3.5 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 8.8 | 22.4 |
| 仙台 | 19.5 | 17.4 | 11.6 | 1.7 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 11.9 |
| 新潟 | 22.8 | 20.2 | 11.8 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 12.8 |
| 長野 | 21.8 | 19.7 | 13.4 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 3.5 | 14.9 |
| 金沢 | 19.0 | 16.7 | 8.1 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 9.4 |
| 鳥取 | 15.5 | 14.1 | 5.6 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 7.5 |
| 福岡 | 6.8 | 5.5 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 3.4 |

表2 積雪があった日数の月別年平均値(1971年から2000年までの平均値)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月~9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|------|------|------|-----|-----|-------|-----|-----|------|
| 札幌 | 31.0 | 28.3 | 29.7 | 6.3 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 8.8 | 28.0 |
| 釧路 | 25.9 | 26.0 | 20.9 | 4.7 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 11.7 |
| 青森 | 30.8 | 28.3 | 25.9 | 3.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.8 | 24.3 |
| 仙台 | 13.1 | 11.8 | 5.6 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 5.1 |
| 新潟 | 20.3 | 19.8 | 7.3 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 8.9 |
| 長野 | 22.4 | 19.8 | 8.1 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 11.4 |
| 金沢 | 19.8 | 19.1 | 7.1 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 7.4 |
| 鳥取 | 15.8 | 14.5 | 4.2 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 6.3 |
| 福岡 | 1.7 | 1.7 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.8 |

雪が降れば視界が悪くなり、積もれば路面が滑りやすくなるなど、雪は雨に比べて降水量が少なくても交通に大きな障害となる場合があります。週間天気予報で雪が降る予報が出ている場合には、前もって雪への備えをしましょう。